

稲作だより 第1号

令和5年7月12日発行
福岡市農業指導センター

北部九州の梅雨入りは平年より5日程度早い5/29頃、梅雨明けは現在、平年7/19頃との予想です。6月の降水量は平年に比べ2割程度少ない状況でしたが、田植え作業は、ほぼ順調に進みました。今後、晴天が続く予報ですので田面が乾燥し過ぎないように、水管理に留意しましょう。今回は、出穂期までの管理についてお知らせします。

1. 気象及び生育概況

- ・気象概況 平年に比べ気温が高く降水量は下回りました。
- ・早期水稻 概ね生育順調で7月下旬に出穂期を迎えます。
- ・普通期水稻 概ね生育順調ですが、一部でジャンボタニシによる食害がみられます。



	6月1日～6月30日 (観測地点：前原)				
	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (h)
令和5年	23.8	28.1	20.2	161.0	139.3
平年値	23.0	27.1	19.5	203.3	145.5
平年差	+0.8	+1.0	+0.7	▲42.3	▲6.2

2. 出穂期予測と穂肥時期

出穂期とは、圃場全体の4～5割の穂が出た日です。今年の出穂期は平年並みの予測です。穂肥は出穂期の概ね20日前に行いましょう。

1) 元肥一発型肥料の場合

基本的に穂肥は不要です。葉色が薄い場合は、グリーンセンターにご相談下さい。

2) 慣行肥料の場合 (赤とんぼの里など)

下表を目安にして、出穂期予測と稲の姿から穂肥時期を判断しましょう。

- 葉色は畔草と同じ位の色の濃さが基準です。
- 幼穂長2～5mm位の頃が化成肥料の施用時期です。
- いもち病の発生、徒長、曇天が続く、葉色が濃い(葉色板4.0以上)等の場合は、施用時期を遅らせるなど対応が必要です。

		夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ	実りつくし	ヒヨクモチ	夢あおば	笑みたわわ
田植え日		6/1	6/10	6/10	6/20	6/20	6/20	6/20
		6/10	6/20	6/20				
出穂期予測		8/3頃	8/13頃	8/24頃	8/31頃	9/3頃	8/19頃	8/26頃
		8/8頃	8/18頃	8/26頃				
穂肥時期	NK2号 赤とんぼの里	7/14頃	7/26頃	8/4頃	8/9頃	8/12頃	7/31頃	8/7頃
		7/19頃	7/31頃	8/6頃				
	有機質肥料 (油かす等)	7/8頃	7/20頃	7/29頃	8/1頃	8/5頃	7/25頃	8/1頃
		7/13頃	7/25頃	7/31頃				

3. 水管理

1) 中干し

①中干しの目的は、**過剰分げつを抑え、土壤に酸素を送り根を健全化することです。**

また、土が締まることで倒伏を防止し、病害虫の抑制効果が期待出来ます。

②中干し開始時期は、株の茎数が坪50株植えて22本程度、坪60株植えて18本程度に分げつした頃からです。少ない場合は、茎数を確保してから開始して下さい。

③田面の乾燥具合は、足跡がつく程度です。乾き過ぎは根を傷め生育を阻害します。

④中干し後の最初の水入れは、走り水程度とし、以降は間断かん水を行います。中干しが出来なかった圃場は、落水期間を長くした間断かん水を行いましょう。

2) 出穂前後

最も水が必要な時期です。出穂前後1週間は浅水管理を徹底しましょう。

3) 台風対策

脱水・倒伏を防ぐため可能な限り深水管理を行い、台風後は水を入れ替え、間断かん水を行いましょう。

【溝切について】

溝切は中干し・間断かん水の効果を高める生産技術です。乗用溝切り機の貸出しを行っています。ご利用希望の方は、最寄のグリーンセンターにお問合せ下さい。

●料金 1,100円(税込) / 1日

●貸出・返却場所 早良・西グリーンセンター



4. 中期除草剤 ※赤とんぼ栽培では使用出来ません

水田雑草の発生状況に応じて使用を検討しましょう。**飼料用米「笑みたわわ」にウィードコア1キロ粒剤は使用出来ません(薬害が生じます)。**

対象雑草	除草剤名	使用時期		使用量/10a
ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤	移植後7日～Ⅾ ¹ I4葉期	収穫30日前まで	1kg
		移植後25日～Ⅾ ¹ I5葉期	収穫30日前まで	1.5kg
	クリンチャージャンボ	移植後15日～Ⅾ ¹ I3葉期	収穫40日前まで	20ℓ ¹ ㍗
		移植後25日～Ⅾ ¹ I4葉期	収穫40日前まで	30ℓ ¹ ㍗
	トドメMF乳剤	移植後14日～Ⅾ ¹ I7葉期	収穫50日前まで	200ml
広葉 カヤツリグサ	バサグラン粒剤	移植後15日～40日	収穫60日前まで	3～4kg
ヒエ・広葉 カヤツリグサ	ウィードコア1キロ粒剤	移植後7日～Ⅾ ¹ I4葉期	収穫60日前まで	1kg
	クリンチャーバスME液剤	移植後15日～Ⅾ ¹ I5葉期	収穫50日前まで	1000ml

5. 病害虫の発生状況と対策

1) ウンカ

現在、トビイロ・セジロウンカともに若干数の飛来が確認されています。今後の天候次第で急増する可能性もあります。注意深く観察して、今後の発生情報を確認して下さい。

令和2年は、7月上旬のトビイロウンカの発生は平年並みでしたが、収穫期直前に大発生し大きな被害をもたらしました。今年も注意が必要です！



【トビイロウンカ】



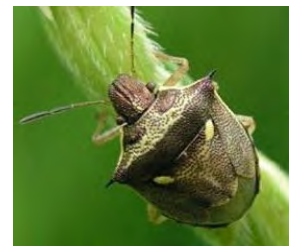
【イネカメムシ】



2) イネカメムシ

近年、福岡県下で被害が拡大しているカメムシの一種で、本年も早良区で発生が確認されています。主に**出穂期～穂揃い期に籾の基部を吸汁することから不稔の原因となり、大量発生すると大きな被害をもたらす恐れがあります。**防除を必要とする場合は、グリーンセンターにご相談下さい。注意深く観察して、今後の発生情報を確認して下さい。

【斑点米カメムシ】



3) 斑点米カメムシ

出穂10日までは、こまめな草刈を行いましょう。刈取った草が水路に落ちないように注意して下さい。

4) コブノメイガ

食害は見受けられますが、収量への影響は殆どないことから、防除は不要です。

【コブノメイガ】



5) いもち病

現在の発生状況は「平年並み」なっています。

- 穂肥時期に発生を確認した場合、穂肥を中止するか、施肥量を減らして下さい。
- 上位葉に発生がある場合は「穂いもち」に進行する恐れがあります。防除が必要な場合は、出穂直前（ジャンボ剤は5日前まで）に行いましょう。

【葉いもち病】



稲の生育・病害虫発生状況は圃場毎に異なります。十分に観察を行い状態を把握しましょう。また、畔草は草丈がヒザより伸びないように管理して下さい。今後の管理については、引き続き「稲作だより2号」「携帯版稲作情報」でお知らせ致します。

稲作農家の皆様へ



令和5年産 米出荷のお願い

当JAでは、稲作農家の皆様から出荷して頂いた米を『プライベートブランド米』として定期購入のお客様へ、直売所では『今摺り米』として供給しています。

現在、販売予定数に対し出荷契約数が約4500袋不足しています。**当年産の米は、当JAへの出荷にご協力をお願いします。**出荷要件を満たした米は「買取り」を行い約1週間で米代金をお支払いします。出荷に関するお問合せは、最寄のグリーンセンターにお尋ね下さい。

JA福岡市の『プライベートブランド米』

ヒノヒカリ 夢つくし 元気つくし 実りつくし



博多じょうもんさん市場の『今摺り米』



「環境保全型農業直接支払交付金」 に取り組む生産者を募集します

同交付金は、環境保全に効果の高い取組みに対して国が支援する補助事業です。

【交付金の概要】

1. 対象者は、販売農家であること
2. 対象農地は、農業振興地域に限る
3. 取組み内容と交付金単価

化学肥料・化学農薬の使用が県基準の5割以下であることが前提です。



取組内容	交付単価 (10 a)	要件
レング等の緑肥の作付	6,000円	土壌診断、購入種子の使用、基準播種の順守等
堆肥の施用	4,400円	土壌診断、C/N比10以上の堆肥施用等
有機農業	12,000円	土壌診断、化学肥料・化学合成農薬を使用しないこと等

4. 申請方法や取組み内容に関する問合せは、最寄のグリーンセンターにお尋ね下さい。
5. 申込期日：令和5年8月10日（木）まで